

Research Day 2011 Faculty of Dentistry University of Toronto

3rd grade graduate student Kaori TSUJI

Department of Maxillofacial Orthognatics

Tokyo Medical and Dental University

今回私はG-COE-AISSとして、2011年2月15日に開催されたResearch Day 2011 Faculty of Dentistry University of Torontoに参加させて頂いた。これはトロント大学歯学部にて学部生および大学院生が自身の研究を発表し、教官により評価を受け、今後の研究活動に活かすというものである。このリサーチディは、Dr. Dennis Cvitkovitch によるOpening remarks に始まり、Dr. Paul Santerre による特別講義、軽食を交えた交流会、ポスター発表・討論会、Dr. Christopher M. Overallによる特別講義、学生による発表、優秀ポスターの表彰、軽食と数点の企業展示を含めた交流会という内容で構成されていた。私を含む日本からの大学院生3名も、ポスター発表の部で自身らの研究を紹介する機会を頂いた。最初に行われた特別講義ではバイオマテリアルに関する興味深い講義が繰り広げられ、学生たちも熱心に耳を傾けていた。その後、皆でポスター会場へ移動し、用意された軽食つまみながらの交流会が始まった。ポスターセッションの時間はその後用意されているが、実際にはこの交流会の時間から、各々興味のある研究内容の前で、活発にディスカッションをする光景が多く見受けられ、会場は活気に満ちあふれていた。先にも記したが、このリサーチディの最後には優秀ポスターの表彰が予定されていたため、みな熱心に自身の研究についてディスカッションを繰り広げていた。日本から参加した我々はその評価対象に含まれていなかったが、私たちのポスターの前でも多くの先生や学生が快く足を止めて下さり、様々なディスカッションの機会を持てた事は大変有意義な時間であった。研究内容に関しては基礎から臨床に基づくものまで多岐にわたっていたが、歯学部のリサーチディという事もあり、どれも自身の関心に触れるものばかりで大変興味深かった。ポスターセッション後に予定されていたトロント大学学生によるオーラルプレゼンテーションでは、皆自身の研究に関して熱意を持って発表を行っており、同じ学生としてとてもよい刺激を受けた。

リサーチディ前日の14日にはG-COE-AISS-OBである佐藤信吾先生及び佐藤先生の現在のBossであるDr. Benjamin A. Almanの御厚意により、Dr. Benjamin A. Alman's Labを訪問させて頂いた。日本からの突然の訪問者であるにも関わらずDr. Benやラボの方々は私のミーティングへの参加を温かく迎えて下さり、リラックスした気持ちで参加する事ができた。午前中に行われた研究報告会ではラボメンバー2名が発表を行い、活発なディスカッションが行われた。私が驚いたのは、このラボミーティングにはテクニシャンの方も全員参加されており、積極的に発言されていた事だ。佐藤先生によると、10年近くこの研究室で働かっているテクニシャンの方もいるとの事で、日本から先生がいらした際には、ラボのルールや機器の使用法など細かな事を丁寧に教えて下さったとのこと。ラボ内でもテクニシャンの方々の信頼は厚く、ミーティング中にDr. Benが意見を求める光景も見受けられた。数多く在籍する学生のサポートにも欠かせない存在とのことだった。

午後は野田先生の御厚意で、Dr. Jane E. Aubin's Labをご訪問させて頂いた。今回Dr. Janeの主催するジョイントセミナーにて、20分程の発表と30分程のディスカッションを行わせて頂いたが、発表前、海外でのオーラルプレゼンテーションを行うのが初めての事だった私は大変緊張し、不安もあった。しかし、研究室の先生方や学生は皆熱心に発表を聴いて下さり、興味を持って多くの質問をして下さった。現在の私の仕事は、まだ解明すべき部分が残されており、完全な結論付けができていない状況にあるため、その点に関して、様々な議論が行えた事は非常に有意義であった。また、学生の中には、研究において現在私が直面している問題と同じ問題に直面している方がおり、彼女とディスカッション出来た事で、この先より一生懸命

研究へ取り組むための意欲をもらった気がする。

その後夕刻には、引率して下さった瀬尾先生の御厚意で Dr. Daniel Haas とお会いする機会をもてた。彼は大変気さくな方で、日本から来た学生3人を研究室や病院内に連れて行ってくれ、歯学部内を見学させてくれた。海外の大学病院を見学するのは、初めての経験だったが、診療室の造りが日本とはまるで違い広々とした空間に驚いた。これは研究室の造りにも共通する事なのかもしれないが、各教室でシェアしている空間が日本より明らかに多いように思う。使用スケジュールを組むのが大変かもしれないが、それがクリア出来れば空間を効率よく利用出来る良い方法かもしれない。

今回、正直最初は自分などで役目を果たせるだろうか、準備は間に合うのだろうか、初めての海外での発表に大きな緊張と不安を抱えた中、出発を迎えた。しかし出発前の予定調整の場で、野田先生から、人は失敗を繰り返し、成長して行くものだ、失敗することを恐れてはいけないという大変貴重なお言葉を頂き、現地での研究紹介の機会を持たせて頂いたおかげで、わずかではあるが、自分の中にあった壁を乗り越える事ができたような気がする。日本人の学生には、自身の仕事について発表するという勇気がなかなか持てない人も多いと思う。私も決して例外ではない。しかし、日本を出て海外に行くと、学生の積極性には感銘を受けるに違いない。皆、精力的に自身の研究内容を伝え、意見をもらい、また逆に周りの仲間の研究内容から多くを学びとろうという気持ちに満ちあふれている。日本人である私はまだまだ語学に対する不安はあるが、挑戦して、失敗も経験しないことには、何も始まらないということを実感した。研究だけでなく、様々な面でコミュニケーションをとる重要性を再認識できたのも今回の派遣で得られた大きな成果の1つであると感じている。G-COE に所属している仲間には、今後同じようなチャンスがあれば、是非参加し、日本では味わえない新鮮な感覚を体験してもらいたいと思う。

最後に今回このような機会を与えて下さった野田先生、森田先生、高柳先生、森山先生、また G-COE スタッフの皆さま、そして現地でお世話になった先生方には心より感謝の気持ちを表したいと思う。また今回我々学生の引率を引き受けて下さり、現地でも大変お世話になった新潟大学瀬尾先生、トロントでの貴重な時間を共有した大谷先生、平田先生、本当にありがとうございました。今回の経験を活かし、残りの大学院生活を充実したものにしたいと思う。

<スケジュール>

2月13日 成田出発

2月13日 夜（現地時間）トロント到着 ホテルへ

2月14日 AM Dr. Benjamin A. Alman's Lab 訪問（佐藤信吾先生ホスト）

ラボミーティング参加、研究室見学

PM Dr. Jane E. Aubin's Lab 訪問

ジョイントミーティングにて自身の研究内容について発表

Dr. Daniel Haas's Lab 訪問

病院（歯学部）見学

2月15日 Research Day 参加

Poster Presentation にて発表

2月16日 昼（現地時間）トロント出発

2月17日 夜 成田着

Faculty of Dentistry's Research Day 2011 in University of Toronto was held on 15th of February at the auditorium in University of Toronto. Three Japanese students, from Hokkaido University, from Kyushu Dental University and from TMDU, were invited to join the meeting. On the same day, the DDS and PhD students of Faculty of Dentistry in University of Toronto had their internal competition in the poster presentation judged by their faculty members. The aim of the research day is to promote and advise all participated students on their research. The poster presentation was held at 13:00-15:00. Before and after the poster presentations there were also some special lectures. They were very interesting to me. In this year there were totally 70 students participated in Faculty of Dentistry's Research Day. I was honored to participate the meeting as a representative of Tokyo Medical and Dental University. A presentation talking in English about my research was very challenging and I put great efforts into the preparation. It was just my second opportunity to do poster presentation about my PhD study, however, I got strongly impressed that many students and teachers stayed their steps and showed their interests in my work. I could get quite precious hints for my ongoing study from lively discussions with them. That experience served as a powerful encouragement to me. In the meeting I could fortunately get some information from other posters because there were the same kinds of similarity with my research theme. Students of University of Toronto were very positive and highly-motivated. I was very inspired by them. This experience was perfectly exciting and fruitful to me.

On the day before the research day, 14th of February, I had wonderful chance to visit some basic research laboratories, such as Dr. Benjamin A. Alman laboratory office in Sick Kids Hospital and Dr. Jane E. Aubin laboratory office in University of Toronto. At Dr. Jane E. Aubin's laboratory office, I had an opportunity to present about my research. I got many productive advices. My presentation received warm attentions from both students and teachers. I acquired some interesting discussions and comments from the people who worked in the related field of my study, which will surely contribute to my ongoing experiment.

During the stay in Toronto I spent a fruitful time. I was also very happy to meet and talk with Dr. Satoh who had graduated from TMDU and now works actively and internationally at Dr. Benjamin A. Alman laboratory. And the end of the day Dr. Daniel Haas kindly showed us the Dental Hospital and their research campus of University of Toronto.

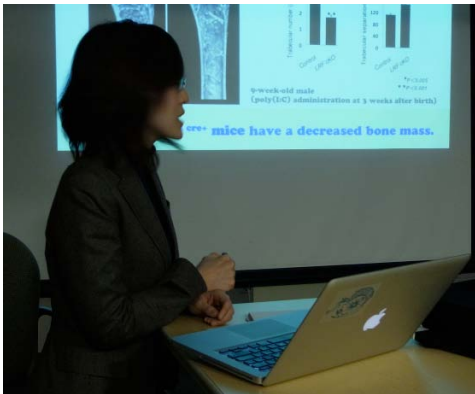
Lastly, I'd like to tell the message to all GCOE members. I really encourage all GCOE members to get the opportunity to meet new people who study at other research institutes abroad. I would like to recommend such international participation to all of our students. To see various research topics and other students in the world will allow everyone to grasp what a real study is like. Communication with researchers will enable you to learn what they had got in the foreign countries.

I would like to express my gratitude to GCOE committee Prof. Masaki Noda, Prof. Ikuo Morita and organizing staff of University of Toronto who gave us such a wonderful experience in University of Toronto. And I thank Dr. Seo and two other students accompanied on this special occasion.

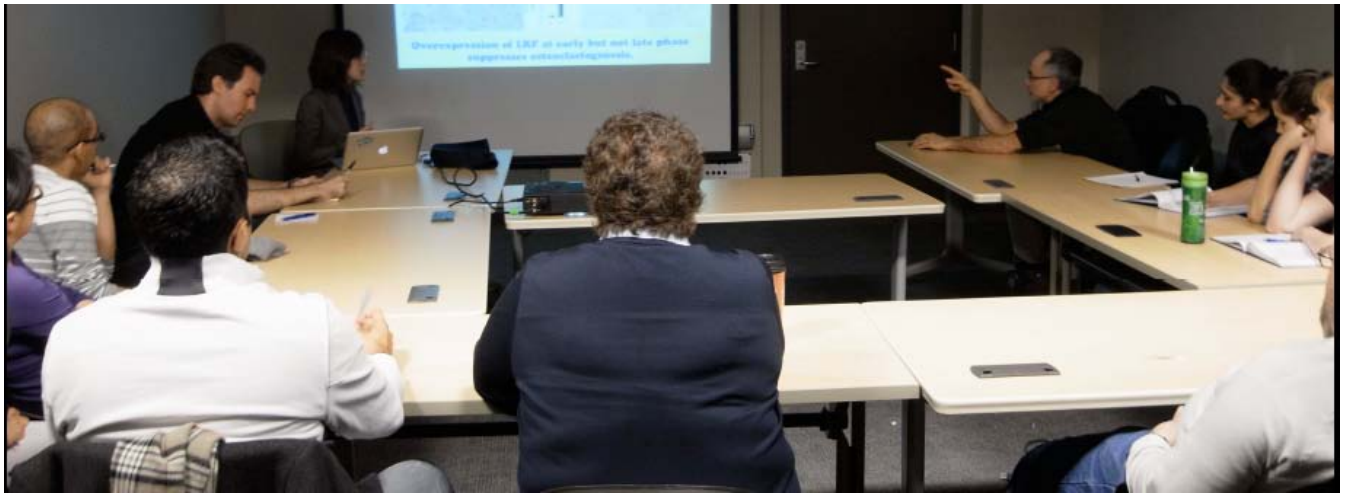
【写真】



Sick Kids の研究室にて、Dr. Benjamin A. Alman、ラボメンバーと



Dr. Jane E. Aubin's Lab でのプレゼンテーション風景



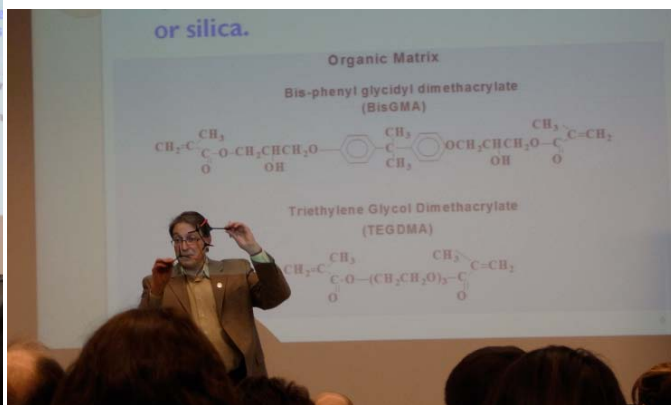
MSB でのオーラルプレゼンテーション後 Dr. Jane E. Aubin、ラボメンバーと



トロント大学構内にて、今回ご一緒させて頂いた先生方と



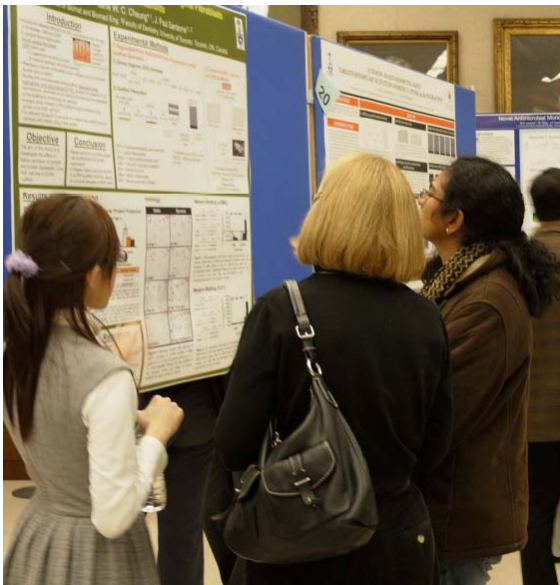
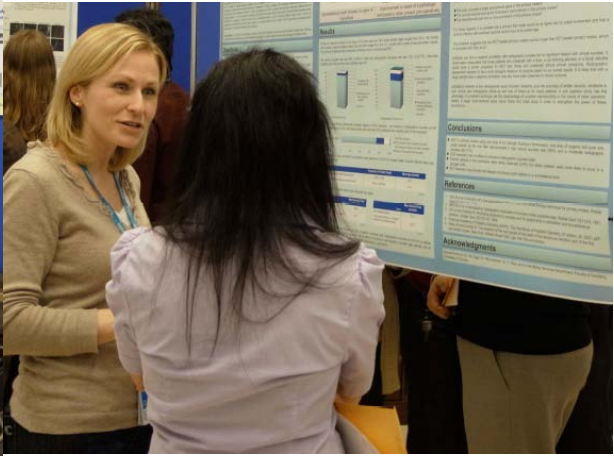
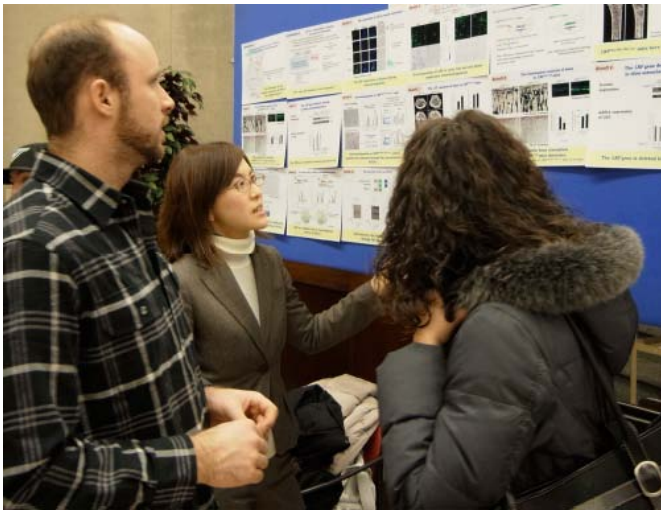
Dr. Dennis Cvitkovitch による Opening remarks



Dr. Paul Santerre による特別講義



軽食を交えた交流会



ポスターセッションの風景



Wine and Cheese の風景



Dr. Dennis Cvitkovitch とリサーチディの最後に